



# ときわ会の四季 秋号

(No.78)



● 写真：無題 …… P 1

● 明生園 敬老会 …… P 2

● インフルエンザ予防接種のお知らせ …… P 2

## 特集

● 1 病棟部署紹介 1 病棟師長 1 病棟師長 山本 夕香里 …… P 3

● 予防医学 外科 峯岸 晶子 …… P 4



### 医療法人ときわ会の理念 ときわ（永遠）の愛

「ときわの愛」とは職員一人一人がそして法人全体が、利用者の求める心の安らぎと身体の健やかさを心から手伝えることです。

#### 理念実践のための3S（信頼・職員・施設）

#### 1 信頼の確立

- 1.1 各職員が利用者第一主義を徹底します。
- 1.2 自治体・関係施設・組織との連携を推進します。
- 1.3 地域住民の保健から緩和医療までの包括ケア体制の向上を目指します。

#### 2 職員の資質の向上

- 2.1 職員各人が心身の健康管理を徹底します。
- 2.2 情報開示（説明・同意・応需・安全・守秘・非差別など）を推進します。
- 2.3 医療関連職員として職務遂行能力の向上を目指します。

#### 3 施設設備の高度充実化

- 3.1 職員各人が経営基盤の安定化を徹底します。
- 3.2 法人施設相互の連携を推進します。
- 3.3 施設特性を発揮する設備の向上を目指します。

### 患者様の「権利」と「ご協力」のお願い

ときわ会病院は安全な医療と快適な療養生活をお送り頂くために、患者様に以下の権利をお約束します。またご病気の一日も早い回復のために以下のご協力もよろしくお願い申し上げます。

#### 権利

- 1 病気や健康に対して十分な情報・説明・教育を受ける。
- 2 十分に説明された検査や治療方法を、自分で選び決める。
- 3 自分が納得する計画的チーム医療・看護・介護を公平に受ける。
- 4 自己の尊厳とプライバシーが守られる。
- 5 上記の権利を得られない場合は、病院などに苦情を申し立てる。

#### ご協力（義務）のお願い

- 1 病気を治すのは患者様ご自身の責任であり、ご自身の心と体の力です。病院の仕事は患者様自身が病気を治すことへのお手伝いであることをご理解ください。
- 2 一日でも早い心身のご回復を目指し、患者様ご自身も病院職員と共にチーム医療・看護・介護に参加する義務があることをご理解ください。

# 明生園 敬老会

令和5年9月13日 明生園1階ホールにて敬老会が行われました。

今年は70歳から103歳まで17名の方が表彰されました。感染対策のため、慰問は行わず、短時間の集まりとなりました。

今回の祝御膳はいなり寿司、茶わん蒸しをいただき、皆さまから「おいしい」と好評でした。

表彰の方から一言ずつ挨拶を頂く際、始めは緊張の面持ちでしたが、スタッフから声をかけられると笑顔が見られておりました。

男性はYシャツにネクタイ、女性はちゃんちゃんこ着用とメイクを施し、写真撮影を行いました。

これからも元気で楽しく過ごせるよう、皆さまの健康と長寿を願っております。



## インフルエンザ予防接種のお知らせ

当院ではインフルエンザ予防接種を、**令和5年10月2日(月)**より開始いたします。詳細は下記のとおりとなります。

記

**接種料金 1回 3,500円(税込)**

曜日	開始時刻
月～金	午後3時～午後4時30分
土	午前8時50分～午前11時45分

なお、当院かかりつけの方は、定期受診時に接種していただくことができます。

ときわ会病院 病院長



# 1 病棟部署紹介

1 病棟師長 山本 夕香里

1 病棟は5床の重症加算病床を含む一般病床39床の急性期病棟で、内科・外科・整形外科・緩和ケア科の入院患者様を受け入れています。救急搬送患者様・全身麻酔での手術患者様・骨折などの入院対応や、近年では新型コロナウイルス感染症の入院も受け入れています。その他、退院調整や地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟・緩和ケア病棟への転棟、終末期患者様への対応など目まぐるしい日々を送っています。

入院患者様は平均年齢80歳と高齢者が多く、医師の指示する治療の継続ができるよう日々日常生活援助を行っています。2025年には国民の5人に1人が後期高齢者であると言われていた中で、私たちは老年学や認知症ケアなどを学びスタッフみんなが共有していく必要があると感じています。

当病棟の医師は内科の永山亮造医師・淳造医師、外科の小柳医師・佐藤医師、整形外科の永橋医師、緩和ケア科の蝦名医師・馬場医師が担当しています。病棟担当のソーシャルワーカーなどコメディカルを含めた医療チームと共に患者様の退院後の生活を視野に入れた治療・退院調整を行っています。

看護スタッフは33名で、平均年齢が若くフットワーク、コミュニケーションよく日々のケアを行っています。令和4年9月より、オーダーリングシステムを導入し、医師の処方・看護システムなど一部電子化されました。それによりパソコン操作に慣れないスタッフは若いスタッフに聞きながら仕事をしております（笑）。

繁雑な業務の中で、スタッフは協力し合いよいコミュニケーションが取れていると感じます。笑顔で仕事をしているスタッフが多く、チームワークの良さを感じる病棟だと思います。

急性期看護を学べるスタッフ教育に重要な部署でもあります。先輩看護師はモデルとなって伝えていき、部署スタッフ全員で成長していくことが大切だと考えています。患者様の話にしっかり耳を傾けて、その人らしくあるために、治療やその先のことを一緒に考え、支援できるスタッフの育成に力を入れていきたいと考えています。



私たちは、患者様が望まれる看護、患者様が自立・自己決定できるように支援する看護を目指しています。患者様の高齢化が進み、自己決定が困難な状況も多くありますが、患者様とご家族様に寄り添った看護ができるよう医療チームの一員として自己研鑽していきたいと考えています。

# 予防医学

外科 峯岸 晶子

今日のテーマは、「決して貼り薬を借りてはいけません」

家族の湿布を借りて使ったら、良く効いたので、同じのを出してほしい、と相談されることがあります。結果的に問題ない場合もありますが、湿布の種類によっては、借りて使った方の服用している鎮痛剤の量が過剰になり、肝臓や腎臓を悪くすることもあります。また、一度に6枚も8枚も貼った場合も同様のリスクがあります。

もっと怖いのは、以前家族のこの湿布を借りて膝に貼ったら効いた、と見せられたのが湿布ではなく狭心症の貼り薬だったことです。「貼る」は「飲む」より軽く見られがちなのです。

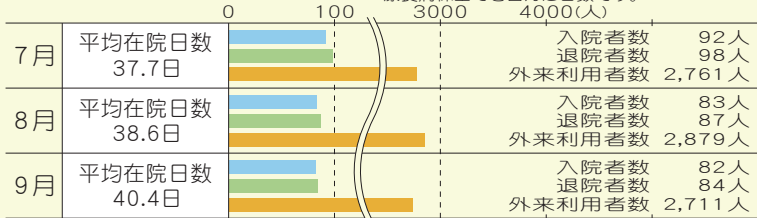
最近では貼り薬の種類も増えています。喘息の薬、癌疼痛緩和の薬、抗がん剤治療の吐き気を和らげる薬、皮膚炎のための薬、ホルモン剤、認知症の薬など、適切に使われれば大きなメリットがありますが、間違っただけに間違って使われると重大な副作用を起こしうるものばかりです。たとえ家族のものでも、似たような症状であっても、人は一人ひとり違うものですから、飲み薬でも貼り薬でも決して人の薬を借りることのないようにしましょう。



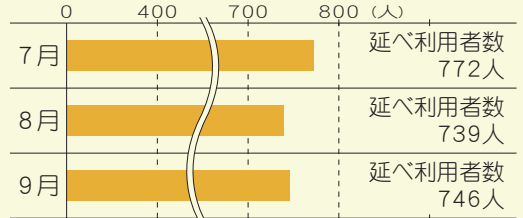
## 医療法人ときわ会病院 各施設の利用状況

### ときわ会病院 利用者数

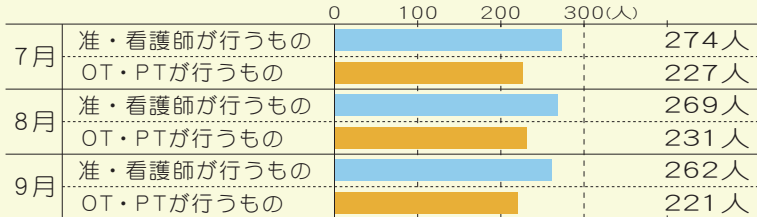
※平均在院日数は一般・回復期リハビリ病棟・療養病棟全てを含んだ日数です。



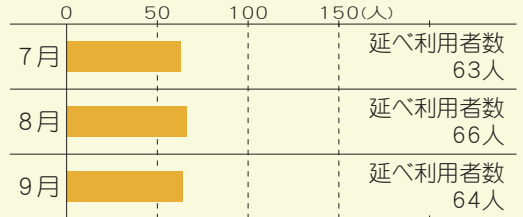
### 通所リハビリテーション 利用者数



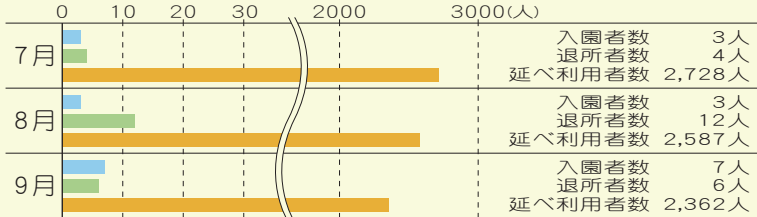
### ときわ会訪問看護ステーション 延べ利用者数



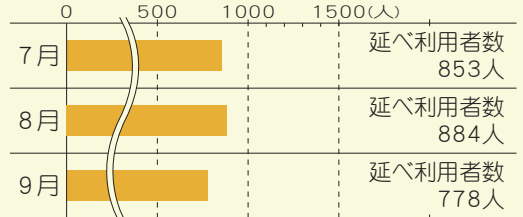
### 居宅介護支援事業所 利用者数



### 介護老人保健施設 明生園 利用者数



### 町立藤崎診療所 利用者数



## 編集後記



今年は弘前で最高気温39℃以上を記録するなど、酷暑、とっていい夏でした。農作物への影響が心配されます。その後まるで帳尻を合わせようとするかのように、急に寒くなり、人の体も翻弄されています。皆様、どうかお元気でこの秋をお過ごしください。

峯岸 晶子